

学習院女子大学モルドバ研修プログラムへの協力（6月12日）

一般社団法人モルドバジャパン
稲田容子

2019年6月12日、学習院女子大学の中欧国際協力研修プログラムによりモルドバを8月24日～27日の予定で訪問する学生に対して、当法人稲田理事が研修事前学習として、学習院女子大学にてモルドバ概要に関する講義を行いました。

なお、同大学によるモルドバでの研修は2011年より実施されており、本年で9年目の研修となります。当法人は同研修開始時より毎年、研修事前学習あるいは研修同行に協力させて頂いています。

講義では、パワーポイントを用いて、モルドバで撮影してきた写真やモルドバの若者に人気の歌を交えながら、風景・人・文化・食・歴史・経済状況等、また、同研修で訪問予定であり当法人が運営支援をしている「カザネシュティ村子どもデイケアセンター」の紹介を行いました。1時間ほどの講義でしたが、モルドバについて初めて話を聞く学生さん方がほとんどで、熱心によくメモを取って話を聞いてくれていました。30分ほどの質疑応答では、「生活していて何か困った時はどのように対処したのですか」、「訪問した時にこれは食べておいた方がよいという物は何ですか」など、自身の訪問をより身に迫ったものとして感じてくれた様子でした。

「カザネシュティ村子どもデイケアセンター」の子どもたちは、毎年、学習院女子大学の学生さん方の訪問を心待ちにしています。ご多忙中このような研修を毎年企画し、引率くださっている中島崇文先生に心より感謝すると共に、この研修を通じて実現できた若者同士の交流経験が双方の文化を理解するきっかけとなり、日本とモルドバの友好関係がより一層深まることを願っています。

注：8月25日、同研修での「カザネシュティ村子どもデイケアセンター」訪問に当法人スタッフ柴崎が同行しました。同行時の様子は、別途報告書をご参照ください。



（以上）